

医療連携室だより 第11号

平成 17 年 10 月 25 日 公立置賜総合病院医療連携室 ☎0238-46-5000 内線 1902, 1903



初心と基本

公立置賜南陽病院 院長 原田 正夫

私は南陽市立総合病院時代から公立置賜南陽病院の現在まで、20 数年間外科医として市民の健康を守るため診療を行ってきました。また一方では、私自身も南陽市民の皆様にて育てられてきたと思っています。この度、南陽病院の院長に任じられ、その責任の重さを痛感しているところであります。今後は新澤陽英前院長の後を引き継ぎ、今まで以上に、公立置賜総合病院と連携しながらサテライト病院としての機能を十分発揮できるよう、また地域に密着した医療を行い、南陽病院の基本理念である「心がかよう安心と信頼の身近な市民の病院」にすべく決意を新たにしているところです。そのためには皆様および職員の協力も必要ですのでよろしくお願いいたします。

当然のことですが医療を行うとき、患者様と医師および医療スタッフの信頼関係が最も重要であると思っています。そして私は患者様を診るとき、病気をみるのではなく病人をみることを、また常に初心を忘れないで、基本に戻ることを心がけてきました。私は消化器外科が専門なので、たとえば腹痛の患者様を診察するとき、患者様の訴えやその表情、歩き方、呼吸の仕方、腹部の所見、触診、聴診等で何の病気か、たとえばイレウス、胆石発作、虫垂炎、腹膜炎、急性膵炎、尿管結石などおおよそ診断がつきます。その後には次の検査の手順を考えます。確かに医学と医療機器の進歩はめざましく、血液検査を行い、内視鏡、CT、MRIなどを使用しなければ診断がつけられない事も事実です。しかしながら、まず患者様を自分の知識と経験をもとに、観察し診ることが医師としての失ってはならない初心であり基本的な姿勢だと信じています。

医療訴訟の多い昨今、これらを少しでも防ぐためにも、患者とよい信頼関係をきずき、よく診て、説明し同意を得、検査や治療をすることが求められることと思います。

紹介、逆紹介、抱え込み率について

医療連携部長 山田 昌弘

近年、紹介率、逆紹介率は病院の経営に直接影響する数字として、どこの病院でも注目されており、これらの数値がある一定の基準をクリアすれば、特別な費用を賭けずに増収が得られることになり、病院にとって有利な収入増となり、当院でも年間数千万円になっております。

また、単に経営的な面だけでなく「紹介率」はその病院が地域においていかに信頼を得て、地域中核病院としての機能を果たしているかという指標であり、「逆紹介率」は各々の医療機関と連携をとりながら機能を分担して、地域完結型医療を目指しているかを示す指標とも考えられ、地域医療の一つの指標とも言えると思います。

ところで、紹介、逆紹介率は以下の計算式に示すように、初診患者数によって大きく左右されます。実際初診患者数というのは取り方によって、若干の違いがでてきてしまうため、施設によって紹介、逆紹介率が異なるということも生じています。

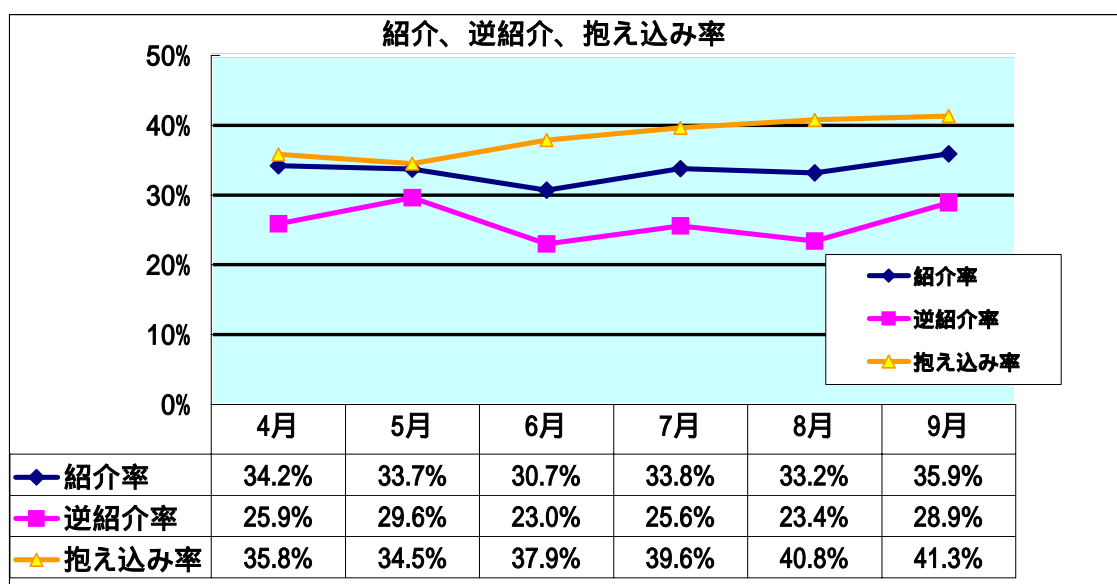
これとは別に、純粋に紹介された患者さんの内、逆紹介されずに当院が抱え込んでいる率を考えたのが「抱え込み率」です。これは当院独自の指標で、初診患者数に左右されることなく、紹介された患者さんをどれだけ逆紹介していないか(抱え込んでいるか)という事を知るための指標です。これは科によっては治療期間が問題になるので、月単位ではなく年単位の累計にしてあります。

$$\text{一般病院の紹介率} = [(\text{紹介患者数} + \text{救急車搬送患者数}) / (\text{初診患者数} - \text{休日、時間外の6歳未満の患者数})] \times 100$$

$$\text{逆紹介率} = [\text{患者数} (\text{診療情報提供料算定分}) / (\text{初診患者数} - \text{休日、時間外の患者数})] \times 100$$

$$\text{抱え込み率} = [(\text{紹介患者} - \text{逆紹介患者}) / \text{紹介患者}] \times 100$$

ここで実際の今年上半期の数字について見てみましょう。



おかげ様をもちまして紹介率は順調に30%以上を維持しております。逆紹介率も徐々に伸びてきておりますが、抱え込み率も高くなっていることが若干気になります。今後、逆紹介をどんどん推進して行きたいと考えておりますので、御協力よろしくお願いたします。

外来の診療状況調査の結果

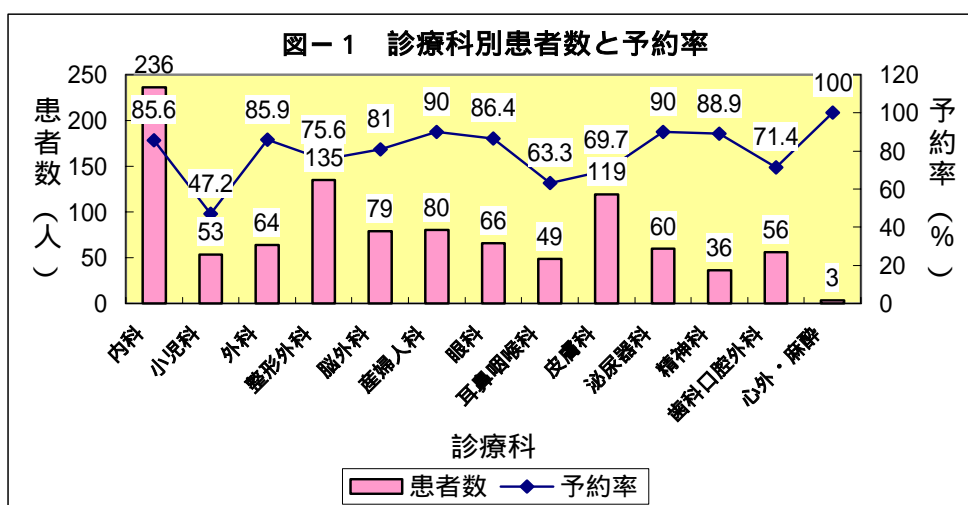
目的： 外来診療の実態を知り、予約制や待ち時間の改善に活かしたいと考えました。

いつ： 平成17年7月25日(月) 混雑する曜日としました。(昨年は7月26日実施)

その結果

1 診療科別患者数と予約状況 ()内は昨年のデータ

- ・患者総数は 1,036人でした
- ・平均予約率は 79.1%でした。(79.8%)
予約しないで来院した患者さんは 217人おりました。



2 紹介患者状況

- ・紹介状を持って受診した患者さんは 30人でした。その内8人は予約無しで来院したため、受付から約100分の待ち時間となっております。
- ・当院は紹介患者の予約時間を優先して診察しておりますが、当日直接持参の場合は受付時の予約となるため待ち時間が長くなってしまいます。

3 待ち時間状況 ()内は昨年のデータ

- (1) 予約患者 予約時間から 平均で 20.6分(31分)でした。
- (2) 予約無し患者 受付時間から 平均 99.9分(80分)
予約時間から 平均 9.2分(6分)診察でした。

調査の結果から(1日だけの調査ですが)

- 1 予約しないで来院する患者さんが200人以上もあり、その方たちの待ち時間は昨年より長くなっておりました。

患者さんは、「かかりつけ医」からの紹介時予約が取れます。

再来の患者さんは、予約センターで予約が取れます。(前日まで)

- 2 「かかりつけ医」からの紹介で、当日予約無しで受診している方も8人おりました。

「登録医」の先生方には、紹介時の是非予約をお願いします。

- 3 月曜日で救命センターや病棟からの対診依頼も98名と多く、予約の枠に余裕がない状況は昨年と変わっておりません。

月曜日は、どうしても具合の悪い患者さんが集中しますので、登録医の先生方には、急ぎでない限り紹介日のご配慮をいただきたいと思います。

〜 登録医と基幹病院を結ぶ 〜

9月14日安日クリニックのスタッフの皆様が視察研修のため当病院を訪問されました。

安日先生のご感想

当医院は置賜総合病院の連携機関として、患者様を紹介もしくは逆紹介していただいております。今後の連携を円滑に進める目的で視察させて頂きました。

医療連携室では多数の医療機関からの予約、医師や各部門への連絡、提携機関への返事などの多彩で多忙な業務内容に驚き、救命救急センターの見学では、救急車で搬送するような重篤な患者の一次処置や、ERの現場での完璧な業務遂行のため、チームワークの素晴らしさと重要性を垣間見ることができました。



見学にいらした安日クリニックの安日新院長他スタッフの皆様です

医療連携室から登録医の先生方への御連絡

1) 紹介状 FAX についてのお願い

紹介状を FAX で送っていただく際には、患者さんのお名前と生年月日をお間違いのないようお願いいたします。

2) 内視鏡検査における感染症検査について

上部、下部内視鏡検査を当院に御依頼される場合、感染症(B,C型肝炎、梅毒)の事前検査をお願いいたします。結果は紹介状に記載していただくか、検査日までに予約センターに御連絡ください。直近3ヶ月までのものが有効となります。

講演会等のお知らせ・・・多くの先生方のご聴講をお待ち申し上げます。

・公立置賜総合病院開院5周年記念講演会

11月24日(木)18:30~20:30 公立置賜総合病院2階大研修室

・登録医総会及び医療連携フォーラムin置賜

1月20日(金)18:00~ 公立置賜総合病院2階大研修室

講師:筑波メディカルセンター病院診療部長 野口祐一先生(循環器内科)

